

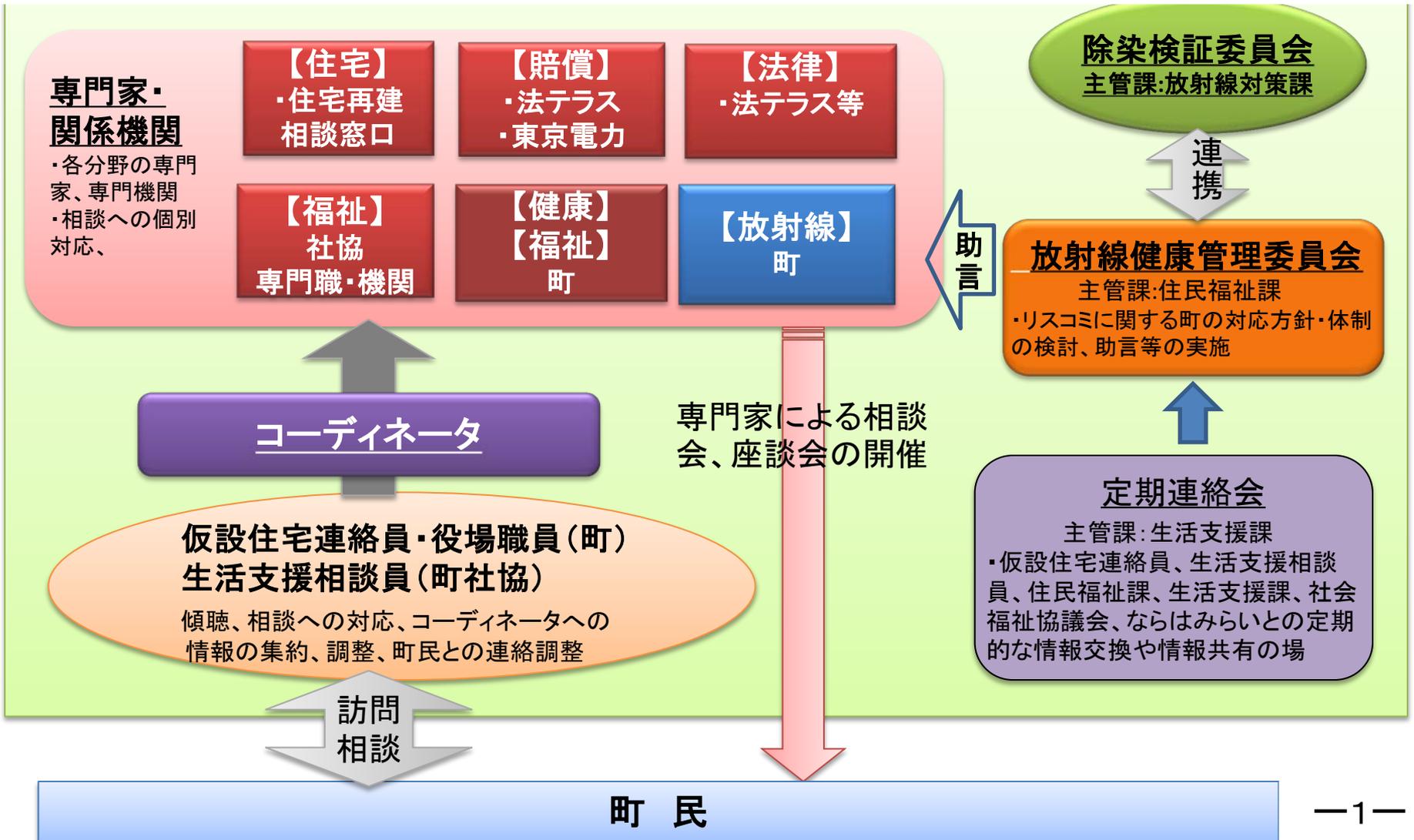
放射線に対するリスクコミュニケーション
の取組みについて

平成27年6月22日

檜 葉 町

帰町・生活再建に向けた町民の相談体制

○町民が生活の再建、放射線に対する不安の低減を図り、安心して暮らすことができるよう、相談支援体制を強化する。



子育て家庭相談支援事業について

長期化する避難生活の中、子どもを取り巻く避難生活環境の実態を把握し、また、家庭環境の変化に関して心身の発達や健康に影響を及ぼす家庭内要因、放射線に関する健康管理、子育てに関する悩みや不安を明らかにし、子どもの健全な発育、発達が促されるよう支援する。さらに住民のニーズや課題解決に向けて、今後の町の子育て支援体制を計画的に推進していく。

対象及び方法

○調査対象

0歳から6歳児(未就学児)の子供のいる家庭

○実施期間

平成26年8月～10月

○調査方法

県内は、保健師が戸別訪問、訪問時不在の場合は郵送。 県外は郵送

訪問、返信結果

○調査対象者数:378件

○回答数 児の回答者数:266件 回答率:70.4%

保護者の回答数:177件

回収方法:訪問237件 郵送 29件

訪問状況

○帰町に向けて不安に思っていることは、「原子力発電所」と「放射線の影響」が約半数、子育て環境(教育施設等)が約2割であった。

○檜葉町への今の思いについては、「いいところだった」が約6割、「住んだことがないのでわからない」「短期滞在だったので、わからない」「思い入れはない」と答えた人が数名いた。

○震災後4年以上経過し、避難者でない母親、出生児が増えてきており、檜葉町をふるさとと感じない人が増えてきており、檜葉町の保健師の訪問に対しても違和感がある人もいた。

○「帰らない」と決めている人は約2割、「子育てが終わったら帰る」が、若干名いた。

○今後利用したいサービスについては、「子どもが遊べる場や交流の場」が約半数で最も多く、次いで「放射線被ばくに関する健診」が4割であった。

○困っていること、悩んでいることでは、「帰還に関すること」が約25%次いで、「放射線の心配」が約20%であった。

○子供への健康影響については、「少しある」と答えた人が約48%、「かなりある」と答えた人は15%、「ほとんどない」と答えた人は20%であった。

○子どもの生活で、放射線に関して気を付けていることは、「水道水を飲まないで水を買っている」が6割で最も多く、「帰宅後の手洗い」が4割、「帰宅後のうがい」が2割、「検診を受ける」が2割の順であった。

<保護者のここ1か月の健康状態(H26年度)>

複数回答 母数=回収数								
	全体		いわき		県内		県外	
①寝つきが悪い、または眠れない	11	6.2%	7	5.3%	2	8.0%	2	10.0%
②自信がない	6	3.4%	4	3.0%	1	4.0%	1	5.0%
③食欲が減ってきた	2	1.1%	1	0.8%	0	0.0%	1	5.0%
④疲れがたまっている	43	24.3%	31	23.5%	6	24.0%	6	30.0%
⑤いらいらしやすい	32	18.1%	23	17.4%	5	20.0%	4	20.0%
⑥よく物忘れをする	12	6.8%	7	5.3%	1	4.0%	4	20.0%
⑦怒りっぽい	19	10.7%	11	8.3%	3	12.0%	5	25.0%
⑧すぐ涙が出る	6	3.4%	3	2.3%	2	8.0%	1	5.0%
⑨腰痛がある	24	13.6%	18	13.6%	4	16.0%	2	10.0%
⑩頭が痛い、腹が痛くなるがよくある	12	6.8%	5	3.8%	4	16.0%	3	15.0%
⑪集中力がない、落ち着かない	2	1.1%	0	0.0%	1	4.0%	1	5.0%
⑫気分が重かったり、憂鬱、絶望的に感じる	6	3.4%	4	3.0%	1	4.0%	1	5.0%
⑬何かやろうとしてもほとんど興味が持てない、楽しくない	3	1.7%	1	0.8%	0	0.0%	2	10.0%
⑭特になし	74	41.8%	58	43.9%	8	32.0%	8	40.0%
⑮その他	6	3.4%	5	3.8%	1	4.0%	0	0.0%
無回答	26	14.7%	18	13.6%	6	24.0%	2	10.0%
回収数	177		132		25		20	

<困っている事、気になっている事>

複数回答 母数=回収数								
	全体		いわき		県内		県外	
1. 子育てに関すること	33	18.6%	24	18.2%	1	4.0%	8	40.0%
2. 健康問題	24	13.6%	13	9.8%	5	20.0%	6	30.0%
3. 家族関係	9	5.1%	3	2.3%	1	4.0%	5	25.0%
4. 経済問題	17	9.6%	8	6.1%	2	8.0%	7	35.0%
5. 放射線への心配	35	19.8%	24	18.2%	2	8.0%	9	45.0%
6. 帰還に関すること	43	24.3%	33	25.0%	3	12.0%	7	35.0%
7. 保育所、幼稚園生活に関すること	28	15.8%	23	17.4%	1	4.0%	4	20.0%
8. その他	17	9.6%	7	5.3%	8	32.0%	2	10.0%
無回答	70	39.5%	59	44.7%	8	32.0%	3	15.0%
回収数	177		132		25		20	

<今後利用したいサービスがある場合、どれを利用したいですか>

複数回答 母数=回収数								
	全体		いわき		県内		県外	
放射線被ばくに関する健診	73	43.2%	54	41.2%	7	35.0%	12	66.7%
ガラスバッチ	14	8.3%	7	5.3%	0	0.0%	7	38.9%
放射線に関する学習会	10	5.9%	10	7.6%	0	0.0%	0	0.0%
子育てに関する相談会	17	10.1%	9	6.9%	4	20.0%	4	22.2%
子供が遊べる、交流の場	83	49.1%	69	52.7%	8	40.0%	6	33.3%
親同士の交流の場	25	14.8%	20	15.3%	3	15.0%	2	11.1%
子育てに関する学習の場	15	8.9%	11	8.4%	1	5.0%	3	16.7%
一時保育、預かり	48	28.4%	34	26.0%	7	35.0%	7	38.9%
その他あればと思うもの	11	6.5%	7	5.3%	4	20.0%	0	0.0%
回収数(あると回答者)	169		131		20		18	

<今後、放射線によるお子さんへの健康影響についてどう思いますか>

1件重複回答								
	全体		いわき		県内		県外	
かなりある	27	15.2%	18	13.5%	2	8.0%	7	35.0%
少しはある	85	47.8%	69	51.9%	9	36.0%	7	35.0%
ほとんどない	37	20.8%	30	22.6%	3	12.0%	4	20.0%
無回答	29	16.3%	16	12.0%	11	44.0%	2	10.0%
計	178	100.0%	133	100.0%	25	100.0%	20	100.0%

<お子さんの生活で、放射線に関して気をつけていることはありますか>

複数回答 母数=回収数								
	全体		いわき		県内		県外	
①特になし	26	14.7%	16	12.1%	5	20.0%	5	25.0%
②水道水を飲まないで水を買っている	108	61.0%	88	66.7%	9	36.0%	11	55.0%
③帰宅後うがい	59	33.3%	45	34.1%	9	36.0%	5	25.0%
④野菜は必ず丁寧に洗って食べる	41	23.2%	32	24.2%	5	20.0%	4	20.0%
⑤洗濯物を外に干さない	14	7.9%	11	8.3%	2	8.0%	1	5.0%
⑥帰宅後手洗いをする	77	43.5%	57	43.2%	10	40.0%	10	50.0%
⑦帰宅後衣類を着替える	4	2.3%	3	2.3%	0	0.0%	1	5.0%
⑧線量計で測定している	10	5.6%	4	3.0%	1	4.0%	5	25.0%
⑨一部の食物の摂取を避ける	29	16.4%	14	10.6%	6	24.0%	9	45.0%
⑩外で遊ばせない	5	2.8%	4	3.0%	1	4.0%	0	0.0%
⑪健診を受けるようにしている	42	23.7%	31	23.5%	3	12.0%	8	40.0%
⑫その他	20	11.3%	14	10.6%	6	24.0%	0	0.0%
無回答	7	4.0%	6	4.5%	1	4.0%	0	0.0%
回収数	177		132		25		20	

<お子さんのここ1か月の健康状態についてお聞かせください(H26年度)>

複数回答 母数=回収数								
	全体		いわき		県内		県外	
①頭痛、腹痛、気持ち悪いなどよく訴える	7	2.6%	5	2.4%	1	2.9%	1	3.7%
②落ち着きがない、集中力がない	22	8.3%	14	6.8%	6	17.6%	2	7.4%
③よく眠れていない	4	1.5%	3	1.5%	0	0.0%	1	3.7%
④地震時、どきどきするなどひどく興奮する	15	5.6%	8	3.9%	5	14.7%	2	7.4%
⑤何事にもやる気がでない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥食欲がない	2	0.8%	1	0.5%	0	0.0%	1	3.7%
⑦体重が急に減少又は増加した	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%
⑧人と接するのをいやがる	1	0.4%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
⑨ひどい癖がある	4	1.5%	4	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑩急に悲しくなったり、イライラしたりする	6	2.3%	4	2.0%	1	2.9%	1	3.7%
⑪特になし	190	71.4%	153	74.6%	21	61.8%	16	59.3%
⑫その他	12	4.5%	8	3.9%	2	5.9%	2	7.4%
無回答	24	9.0%	17	8.3%	3	8.8%	4	14.8%
回収数	266		205		34		27	

準備宿泊者の訪問状況について

趣旨

H27年4月6日から実施している準備宿泊者や一時帰宅者等の自宅での暮らしの状況や感想及び生活再開に向けての気づきを把握。課題を抽出し、今後の支援に向けて方向性を検討していく。

訪問期間及び方法

- 平成27年4月20日～7月上旬
- 保健師及び看護師が戸別訪問

訪問結果(H27.6.11現在)

- ・準備宿泊登録数 約480世帯 644人
- ・訪問件数 107世帯
 - (内訳) 不在件数 54世帯
 - 面接件数 52世帯 82人
- (内訳) 宿泊登録 31世帯その他 20世帯

訪問状況

- ・準備宿泊者登録は、世帯全員の氏名で申請しているが、現実的には親世代のみ宿泊している。
- ・訪問したが、不在者が多かった。
- ・面会できた人のほとんどが通いで、犬猫の世話や自宅の環境整備、田畑の除草等をしており、宿泊はしていないようである。

訪問時の感想

- ・当面、二重生活が長く続きそうである。
- ・警察や消防等、いろいろな立場の人たちが訪問しているので関係機関の連携が必要である。
- ・空家の活用を考えていくことが必要。
- ・面会できた人のほとんどの人が、放射線のリスクについては、自分なりに納得しているように感じられた。
- ・住民の発言で、「急に避難にあって、心に刻まれた恐怖や不安が拭い去れず、新たな情報がはいてきて受け入れづらい。また、起きるんじゃないかと不安になる。
- ・震災後のさまざまなストレスが多い人ほど、不満が多いように感じられた。

住民の声

健康面

- 自然の中で清々した気持ち。
- 隣近所をきにすることがなく自由。
- 新築の自宅になり安心している。
- 家の修繕や庭いじりの楽しみがある。
- 借り上げでの生活に疲れ切ってしまい、戻れて気持ちが楽になった。
- 眠剤やアルコールがなければ眠れなかったが、檜葉に来てからは薬がなくても眠れる。
- 肩こり、頭痛、易疲労がなく楽になった。
- 防犯パトロールや警察の姿が見えるので安心する。



- 何日かは泊まってみたが、近くに話相手はなく寂しくなり避難先に戻る事が多くなった。
- 昼間でも近所に人気がなく寂しいうえに、夜になれば更に静かになり不安がつもの。
- 震災で崩れたままで手つかずの家や塀などをみると、気持ちが重くなる。
- 仮置き場の光景が不快。

要望

- ★地区の人は戻るので、運動や健康講話などやってほしい。
- ★今の準備宿泊中でもそうだが、みんなで集まり楽しめることがあると良い。
- ★遠くに住む息子は、檜葉での仕事があれば戻ってきたいと言っている。
- ★一日も早く、帰町したい。
- ★ホームセンターは必要。



生活面

- 一人暮らしで運転はできないが、復興バス(タクシー)が使える助かる。
- 買い物は、震災前と同じでいわきでまとめ買いをするので困らない。
- 借り上げ住宅ではこもりがちだったが、今は草むしりをして動いている。
- 空き巣の被害を話したら、警察のパトロールが増えた。

- 仮設の人には宿泊のことは言わない、言えない。
- 娘達と一緒に店を営むつもりだったが、再開は困難になり断念。
- 宿泊にあたり家電や調度品が揃っていないので不便さがある。
- 新聞が来ない。コンビニに行くが、すぐになくなってしまう。
- 介護する母親の足が思うように動かなくなり、入浴時の介助に苦労
- 交通手段のない人は困る。
- 定期通院が困難
- 医者(内科・整形・眼科・皮膚科・・・)と水が安心できないと帰れない。
- 避難先での介護や福祉サービスが使えないと帰れない。



暮らしの中の放射線について

- 自分でできる限りの除染はした。
- 畑で作った野菜の検査をしてもらった

- 飲料水や調理に使う水は、いわきから持ってくる。
- 水は飲む気になれない。数値は聞いて頭ではわかっているが気持ちついてこない。
- 木戸ダムの底にはセシウムが〇〇もあると聞くと、安全とは思えない。
- 広い屋敷の除染が進んでいない。
- 隣家が除染をしていない。町からも働きかけてほしい。
- 低線量被ばくに対しては、不安や疑問があるのに、“安心な場所ですから、帰町しても大丈夫です”と言われても納得いかない。
- 除染に不満。

